

2019年7月21日

福音書からのメッセージ

しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。

(ルカによる福音書 10 章 42 節)

イエス様がある村に入ったとき、マルタという女性がイエス様を家に招き入れました。様々な場所で活動をしていたイエス様は、この行為をありがたく受け入れたようです。しかしイエス様が入ると、マルタとその姉妹マリアは、対照的に動きます。マルタはイエス様をもてなそうと、せわしく立ち働いていました。しかしマリアはイエス様の足もとに座って、じっとイエス様の話に耳を傾けていました。

マルタはイエス様のために、立ち働いていました。この「立ち働く」という言葉は、「心をとりにみだし」とも訳すことができます。彼女の心は乱されていたのです。イエス様のために接待をすることは、必要なことだったでしょう。しかし彼女の心は乱れ、イエス様の元から離れてしまったのです。

その原因は、マリアの行動でした。彼女はイエス様の足もとに座り、その話に聞き入っていました。「大事なお客様が来たのに、マリアときたら何しているの」。その思いがマルタの心を支配したのでしょうか。そしてイエス様に訴えます。「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか」と。マリアも自分と同じように働くべきだと考えたのです。

マルタは、ただイエス様をもてなしたいと思っていたはずなのに、その心にいろんな思い煩いが襲い掛かってきました。そしていつの間にか、イエス様をもてなす思いよりも、自分は正しいことをしているという思いが優先されてしまい、それを無視するような態度が許せなくなってしまう



のです。

この物語は、きわめて日常的なものです。わたしたちは毎日の生活の中で、何度となく自分の中のマルタとマリア

に出会っているのかもしれませんが。イエス様はマルタに言われます。「あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している」。わたしたちも経験あると思います。マルタのように心乱され、本当に大切なことを見失ってしまうことが。そしてイエス様はさらに続けます。「しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない」。良い方、それは何でしょうか。マリアは何をしていたのでしょうか。

彼女はイエス様の話に聞き入っていました。夢中になって、ずっと聞き続けていたのです。それを「良い」とされました。ボーっとしていることを良しとされたわけではありません。台所仕事を拒否したのをほめられたのでもありません。彼女が選んだこと、それは主の言葉、み言葉を聞くということでした。そしてイエス様は、そのことこそ何にも増して大切なのだと伝えられたのです。

わたしたちもまた、イエス様の言葉を聞くことを、何よりもまず優先しましょう。その上で、わたしたちがなすべきことをおこなうことが、イエス様の願いなのです。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>